

# ■連携の拠点の取組について

資料2-3 【守口保健所】

対象地域		守口市
実施主体	連携の拠点	守口市
	市町村医介連携事業（委託先）	守口市高齢介護課

令和6年度の取組内容（予定を含む）	取組・予定	
	① 会議の開催	<p>○R6.6.20に「連携の拠点」と「積極的医療機関」が参加し、第1回在宅医療推進会議を開催。11月に第2回会議開催予定。1回目のメンバーに加え、在宅面での各機関の課題を共有するために、地域包括支援センター・訪問看護・介護支援専門員の参加を要請。入退院支援や急変時対応等に関して現状や課題と思うこと等について意見交換を予定。</p>
	② 地域の資源の把握・関係機関との調整	<p>○守口市地域づくり連携会議（事務局：守口市基幹相談支援センター、参加：障がい福祉課・高齢介護課・生活福祉課・社会福祉協議会・地域包括支援センター・主任ケアマネ連絡会）を地域生活支援拠点等の整備・拡充を目的に地域の障がい福祉事業所や医療機関等の関係機関と有機的なネットワークづくりとしてR4年度から、月1回程度の連絡会議・年1回関係機関との交流学習会（グループワーク等）を開催</p> <p>○守口市高齢介護課作成冊子「もりぐち高齢者くらしのお助けガイドブック」や市HPで紹介している救急安心カード・救急安心カプセルの配布等について、関係機関と情報共有し日常療養支援での活用を促す。</p>
	③ 急変時対応等の体制構築	<p>○介護サービス事業所会長会（地域包括支援センター・ケアマネ・訪問看護・訪問介護・通所サービス・グループホーム・福祉用具・病院老健特養相談員・社会福祉協議会・高齢介護課）にて救急搬送時の課題を共有した。また、ACPの取組の実態や現状について各連絡会にて調査を開始予定。</p>
	④ 在宅医療にかかわる研修	<p>【参考：医介連携】地域包括支援センター全体会ACP講演会 R6.6.24開催 「最後までその人らしい生き方を」～多職種のチームでACPを考える～ 講師：橋本在宅クリニック 橋本和喜医師 参加者：介護支援専門員・ヘルパー・訪問看護・セラピスト・デイサービス・病院施設等相談員・福祉用具専門員等、約170名参加。</p>
⑤ 在宅医療の普及啓発	<p>○人生会議（ACP）普及啓発にかかる取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①例年、高齢介護課が作成しているインディカトのタイトル名や内容（『終末期医療について』等）が高齢者が取り組みやすく家族等と話し合うきっかけとなれるか等、第3包括圏域地域支援ネットワーク会議にてヒヤリングを実施。（八雲下島ネットワーク：地域包括支援センター・老人会長・地区運営委員・民生児童委員・福祉委員が出席）</li> <li>②市民講座を実施していた松下記念病院職員とACP普及啓発における課題点など共有し、情報交換を実施。</li> <li>③高齢者大学の来年度の講義内容として、ACPについて一コマ設けてもらえるよう働きかけを行い、講師を紹介。</li> </ol>	

進捗	<p>○在宅医療における現状の共有と課題抽出のための会議を開催。参加メンバーの拡大も含め検討しながら進めている。</p> <p>○今年度把握した現状から、地域として取り組むべき課題を抽出し、次年度以降の取組を進めていく。</p>
----	--

課題	<p>○地域包括ケアシステムに基づく会議体や連携体制は整っているため、今後、医療を含めた連携体制の整備が必要。</p>
----	---